

緑陰

「緑陰」題字
本庄第一高等学校 本元彩乃

第27号

令和7年1月31日発行

一般社団法人
埼玉県私立中学高等学校協会
〒330-0063
埼玉県さいたま市浦和区
高砂4丁目13番20
電話 048-863-2110
HP
www.saitamashigaku.com

「令和六年度埼玉県私学振興大会」が 盛大に開催されました

埼玉県私立中高協会 副会長 城川雅士

令和六年度の「埼玉県私学振興大会」が、十一月二十日に盛大に開催されました。

この大会は「私立小学校中学校高等学校保護者会連合会（以降「埼玉私学保護」と記す）」と、「私立中学高等学校協会（以降「私立中高協会」と記す）」の主催で開催され、私学に通うお子様を持つ保護者約一八〇〇名が会場となったさいたま市文化センターに

集まり、熱気あふれる大会となりました。

大会にはご来賓として山崎達也副知事、斉藤邦明県議会議長、元文部科学大臣の柴山昌彦衆議院議員、そして自民党私学振興懇話会の小島信昭県議をはじめ、国や県の要職についておられる方々四十一名のご臨席を賜り、議員の方々や行政に関わる方の私学への関心の高さがうかがえました。

大会決議(案)

埼玉県私立学校は、それぞれの【建学の精神】に基づき、個性豊かで先駆的な教育を実施し、スポーツ、文化、進学等、多くの面において輝かしい実績を重ね、埼玉県教育の発展に大きく貢献しています。

しかし、現在、私立学校の置かれている状況には大変厳しいものがあります。

民間企業の賃上げが進み、公立学校でも教職員給与の大幅な引き上げをはじめ給費増の動きが進む中、私立学校が優秀な教員を確保するためには、教員給与の改善が喫緊の課題です。

また、物価上昇が止まらず、ICTなど社会の変化に対応した新たな教育環境の整備も図られていく中で、私立学校の経営はますます困難性を増しています。

こうした課題を解決するための財源として、授業料と県からの運営費補助金がありますが、授業料の引き上げは、生徒負担の公私間格差をさらに拡大することにつながり、大阪や東京で行われている授業料無償化の動きとは逆行するものです。そのため、運営費補助金の増額に頼るざるを得ないのが実情です。

ところが現在、埼玉県から私立学校に交付される運営費補助金の生徒一人当たり単価は、国の財源措置額を大きく下回っています。

私立小・中学校に対する補助金についても、国の財源措置額との差額は高校の約三倍となっており、とても看過できる状況ではありません。

一方、父母負担については、今年大阪府や東京都が私立高校授業料実質無償化を打ち出しましたが、これはどこの自治体でもできるものではなく、本県国が率先して取り組むべきものがあります。

つきましては、下記の事項について決議します。

記

- 1 私立学校に対する運営費補助額の大幅な拡充を図ること。
なお、私立小・中学校に対する補助金の単価は、国の財源措置額が毎年増加しているにもかかわらず近年間接減額されているが、その理由を明らかにすること。
- 2 100円など社会の変化に対応した新たな教育環境の整備や物価高騰対策などに対する対応について、十分な予算的措置を講ずること。
- 3 保護者負担の公私間格差是正について、全国共通の課題として、国への実現を強く働きかけること。

以上、決議する。

令和6年11月20日

埼玉県私学振興大会

大会は私立中高協会の青木会長の挨拶で幕を開け、青木会長はあいさつの中で運営費補助金の増額や授業料軽減補助事業など、これまで埼玉県が進めてきた私学支援施策への感謝を表明するとともに、教員の働きやすい環

境の整備に対する重要性を訴えました。特に、公私間格差の是正については今後さらに対応が求められるという認識を示し、今後の課題として強調しました。

続いて、埼玉私学保護の関口会長が主催者挨拶を行い、来賓挨拶として山岸副知事、斉藤県議会議長、柴山元文部科学大臣（現・自民党埼玉県連合会長・衆議院議員）、自由民主党私学振興懇話会会長の小島県議と、四人の要職に就かれている方々からの挨拶が続きました。それぞれの挨拶には、私学教育を支えるために今後さらに協力し合う意義が込められており、会場内の参加者にも強い印象を与えました。

来賓紹介、祝電披露が行われた後に埼玉私学保護の佐藤美紀副会長が大会決議案を力強く朗読されました。朗読が終わると会場からは満場の拍手が沸き起こり、決議案は満場一致で採択されました。これらの決議案は、私学教育をより充実させるために必要不可欠な提案であり、満場一致で採択されたことは、私立学校への期待が一層高まっていることの証です。

採択された決議文は埼玉私学保護副会長の高野恵子様と同副会長の佐藤美紀様から山崎達也副知事と斉藤邦明県議会議長にそれぞれ手渡され、会場内からは大きな拍手が沸き起こりました。このような大規模な大会が成功裡に終わることができたのも、保護者の皆様の熱心な参加とご協力があつたから



大会決議文は満場一致での採択となりました
左から佐藤埼玉私学保護副会長、斉藤県議会議長、山崎副知事、高野埼玉私学保護副会長

こそです。埼玉私学保護の役員の方々は中高協会役員と共に実行委員会を組織していただき、二回の合同専門委員会や会場の下見など多大なご尽力を頂きました。迎えた当日は埼玉私学保護三六名の役員その他に、私学各校から四二名の運営スタッフとしてのご協力をいただきました。この場を借りて、心から感謝申し上げます。

二月一五日には埼玉私学保護役員と中高協会役員が集い、今年度の私学振興大会の反省会が行われ、活発な意見交換がなされ、次年度開催に向けての課題などが整理されました。

今後も、埼玉県私立中学高等学校協会は、私学教育の発展に向けて、県や保護者の皆様と共に手を携えて努力を続けてまいります。私学振興大会での決議が、私たちの活動をさらに前進させる力となることを信じています。皆様のご支援を引き続きお願い申し上げます。

文書で読み取る昭和46年頃の埼玉私学

埼玉県私立中学高等学校協会 副会長 小林 弘 斉

文部科学省が教員不足や長時間労働問題等の対応などから公立学校教員に一律に支給されている教員調整額を2026年までに4%から13%に引き上げ教員待遇を改善する概要が報道された。これを知り私は教員調整額を一律に支給する根拠となっている昭和46年に成立した給特法について調べる過程で、埼玉私学が当時にとどのような活動をしていたのか興味が沸きだした。

則（昭和43年）、埼玉県私学父母の会連合会規約（昭和44年）、中高協会規約（昭和46年一部改正）の案が残っていた。会計においては現在ほどではないが昭和43年度よりも46年度がより詳細明瞭になっている。年々県費補助金増額に伴い組織文書を公正明確にしていく必要段階であったようだ。

次に埼玉私学全体の教育の質向上を目的として昭和44年度教科研究助成奨励費制度をかわきりに、多くの私学が教科研究会を年間を通し頻繁に行い、教員の海外研修なども活発に始まった。現在の中高協会の研究研修部会での教科研究会や私学教育研究大会の始まりとも言える。さらに昭和44年には第一回埼玉私学音楽祭が開催され県民に対してのアピール活動も始まっている。これらは埼玉県から多くの補助金を獲得すると共に、私学が生き残るために公立学校との教育差を明確にし、埼玉県や県民に私学教育の重要性を示し存在意義を強調する事が必要不可欠だったことが感じ取れる。

このころの中高協会文書で特徴的なのは様々な規約や会計が厳格に作成され始めている。埼玉県私学総連合会会

校、募集定員6,500名、入学者数5,636人で86.6%と定員割れしている。在学生生徒総数が16,824人、県内出身者生徒13,711人（85%）、県外中学出身者が3,113人（15%）という状況だったことから当時の私学経営の厳しさがわかる。昭和45年度教育助成金増額陳情書にはこう書かれている。「生徒の漸激による収入減と私学の特色振興等の財政需要増や年毎に高まる人件費増、一般諸経費の高騰など幾多の山積した問題」と深刻さを訴えている。陳情書によると給与費県費補助金として昭和43年度は埼玉私学総人件費の1カ月、昭和44年度は1.5カ月、昭和45年度は3カ月分が補助されている。昭和46年度は前年と同じく3カ月分だが補助対象金額は約2倍になり、新たに需用費として人件費以外の経費年総額の2分の1補助を求めている。そして昭和47年度陳情書では公立学校と同等額の教職調整額の補助と諸物価高騰による私学授業料値上げの保護者負担増額抑制のための県補助を陳情し、年々大幅に金額や補助の数を拡大している。

そして日本私立中学高等学校連合会の昭和47年要望書では地方交付税大幅増額のため、全国の中高協会に地元代議士へ直接働きかける要請とその運動

方法が中国私学5県の「私学の危機に訴える」という嘆願書とともに添付されていた。埼玉では昭和47年2月2日中高協会文書「地方交付税確保のための運動について」が各校に送付され、埼玉各地域において積極的に議員に働きかけをするよう要請がでている。この活動が後の昭和50年私学振興助成法成立などへつながっていく。

過去文書により昭和46年頃の埼玉私学は、中高協会活動を通し困難な時代での様々な問題に向き合い、私学が生き残る行動を積極的に行ってきたことがわかった。今日の埼玉私学が存在出来ているのは、先人の方々のおかげであることを忘れてはならない。



令和6年度 全国高等学校総合体育大会

令和6年度 全国高等学校総合体育大会「ありがとうを強さに変えて 北部九州総体 2024」が、7月27日から8月20日まで福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、北海道、福島県、和歌山県で開催されました。

総合開会式は、7月27日に福岡県の福岡県立久留米スポーツセンター体育館（久留米アリーナ）にて行われました。

本県の私立高等学校の入賞者の一覧を（表1）に示しました。

（表1）令和6年度全国高等学校総合体育大会埼玉県選手団成績一覧表【県私立中高協会加盟校のみ】

埼玉県高等学校体育連盟 8月20日現在

【団体種目】

	男 子			女 子		
	競技種目		学校名	競技種目		学校名
優勝	サッカー		昌平			
	柔道	団体	埼玉栄			
	バドミントン	学校対抗	埼玉栄			
準優勝	水泳（水球）		埼玉栄			
ベスト4	水泳（競泳）	学校対抗4位	春日部共栄	バドミントン	学校対抗3位	埼玉栄
	弓道	団体3位	東京農大三			
	フェンシング	学校対抗3位	埼玉栄			
ベスト8	相撲	団体5位	埼玉栄	水泳（競泳）	学校対抗5位	武南
	少林寺拳法	団体演武6位	川越東	ソフトボール	5位	星野
				ウエイトリフティング	学校対抗5位	埼玉栄
				なぎなた	団体5位	埼玉栄

【個人種目】 ○数字は学年

	男 子			女 子		
	競技種目		生徒名・学校名	競技種目		生徒名・学校名
優勝	柔道	100kg級	平野 匠啓③ 埼玉栄	水泳（競泳）	100m背泳ぎ	園部ゆあら② 埼玉栄
	水泳（競泳）	50m自由形	岩見 俊祐③ 春日部共栄	水泳（競泳）	100m平泳ぎ	河原 彩華② 武南
	水泳（競泳）	400m自由形	内村 弥路② 武南	水泳（競泳）	200m平泳ぎ	河原 彩華② 武南
	水泳（競泳）	1500m自由形	丹野 義大② 埼玉栄	水泳（競泳）	200m個人メドレー	高山 紫妃① 武南
	バドミントン	シングルス	高野 日向② 埼玉栄	ウエイトリフティング	71kg級スナッチ	蓑田 天③ 埼玉栄
	バドミントン	ダブルス	三浦③・稲川③ 埼玉栄	ウエイトリフティング	71kg級C&J	蓑田 天③ 埼玉栄
	レスリング	125kg級	藤田 宝星③ 花咲徳栄	ウエイトリフティング	71kg級トータル	蓑田 天③ 埼玉栄
	フェンシング	サーブル	河原 資起③ 立教新座			
準優勝	水泳（競泳）	50m自由形	會田 慧② 春日部共栄	陸上競技	走高跳	高橋 美月③ 埼玉栄
	水泳（競泳）	400m自由形	古江 良① 埼玉栄	水泳（競泳）	200m背泳ぎ	田島ありす① 春日部共栄
	相撲	個人	鮫島 輝③ 埼玉栄	水泳（競泳）	400m個人メドレー	高山 紫妃① 武南
	相撲	個人80kg級	大倉 義経③ 埼玉栄			
	自転車	ロードレース	田島 綾人② 東京農大三			
	レスリング	65kg級	吉田 煌③ 花咲徳栄			
	ボクシング	バンダム級	金子 暖東② 花咲徳栄			
	フェンシング	フルーレ	鈴木 哲矢② 立教新座			
ベスト4	水泳（競泳）	200m自由形3位	古江 良① 埼玉栄	陸上競技	砲丸投4位	米川佳里奈② 西武台
	水泳（競泳）	1500m自由形3位	内村 弥路② 武南	陸上競技	円盤投4位	益井 莉桜② 西武台
	水泳（競泳）	100mバタフライ3位	岩見 俊祐③ 春日部共栄	剣道	個人3位	中村 陽向③ 本庄第一
	水泳（競泳）	400mフリーリレー 4位	岩見・神場・會田・鈴木 春日部共栄	水泳（競泳）	100m自由形3位	高橋 彩加③ 埼玉栄
	水泳（競泳）	400mメドレーリレー 4位	吉田・高橋・岩見・會田 春日部共栄	水泳（競泳）	100mバタフライ4位	中島 紗希③ 武南
	バドミントン	ダブルス3位	有江③・澤田② 埼玉栄	水泳（競泳）	400mメドレーリレー 3位	高山・河原・中島・橋本 武南
	ウエイトリフティング	67kg級C&J3位	高橋正太郎③ 埼玉栄	水泳（競泳）	400mメドレーリレー 4位	田島・山田・榎本・溝下 春日部共栄
				バドミントン	ダブルス3位	榎本②・八嶋② 埼玉栄
				ウエイトリフティング	59kg級C&J4位 単独演武4位	川野辺有紗② 埼玉栄

	男 子			女 子		
	競技種目		生徒名・学校名	競技種目		生徒名・学校名
ベスト 8	陸上競技	800m6位	関 朝陽③ 東京農大三	陸上競技	5000m競歩6位	内山 由菜② 本庄東
	陸上競技	砲丸投8位	石井 敏斗③ 西武台	陸上競技	走高跳5位	佐藤那々子① 早大本庄
	水泳（競泳）	400m自由形6位	長島 彰吾② 武南	水泳（競泳）	200m自由形5位	山本 結月③ 花咲徳栄
	水泳（競泳）	500m自由形7位	竹村 空竜③ 春日部共栄	水泳（競泳）	400m自由形7位	橋本 沙希③ 武南
	水泳（競泳）	200m背泳ぎ5位	吉田 琉惟① 春日部共栄	水泳（競泳）	400mフリー リレー 6位	園部・田村・ 山田・高橋 埼玉栄
	水泳（競泳）	200m背泳ぎ7位	駒崎 睦彦② 武南	水泳（競泳）	800mフリー リレー 7位	小林・中島・ 高山・橋本 武南
	水泳（競泳）	800mフリー リレー 7位	神場・鈴木・ 小川・岩見 春日部共栄	水泳（競泳）	800mフリー リレー 7位	小林・中島・ 高山・橋本 武南
	相撲	個人5位	齋藤 忠剛③ 埼玉栄	レスリング	62kg級5位	飯田 響① 埼玉栄
	自転車	ロードレース6位	天野 日路③ 叡明	レスリング	74kg級5位	諸星 菜夏③ 埼玉栄
	テニス	シングルス5位	藤崎 幹大③ 早大本庄	フェンシング	エペ6位	佐藤ひな子② 埼玉栄
	レスリング	71kg級5位	福井 大翔② 埼玉栄	ウエトリフティング	49kg級スナッチ5位	田口 菜桜③ 埼玉栄
	ボクシング	フライ級5位	大澤 勇心① 秀明英光	ウエトリフティング	49kg級C&J5位	田口 菜桜③ 埼玉栄
	フェンシング	エペ5位	宮崎 陸翔② 埼玉栄	ウエトリフティング	49kg級トータル5位	田口 菜桜③ 埼玉栄
	ウエトリフティング	67kg級トータル7位	高橋正太郎③ 埼玉栄	ウエトリフティング	55kg級スナッチ6位	上地 未来① 埼玉栄
				ウエトリフティング	55kg級C&J8位	上地 未来① 埼玉栄
				ウエトリフティング	55kg級トータル6位	上地 未来① 埼玉栄
				ウエトリフティング	59kg級スナッチ8位	川野辺有紗② 埼玉栄
				ウエトリフティング	59kg級トータル6位	川野辺有紗② 埼玉栄

令和 6 年度 全国高等学校総合文化祭

令和 6 年夏（7/31～8/5）、高校生による国内最大規模の芸術文化の祭典である全国高等学校総合文化祭が、岐阜県を会場として、演劇や吹奏楽、美術・工芸、囲碁、将棋など22部門にわたる発表や競技大会が開催されました。本県から出場されました私立高等学校の作品等の一覧を（表 2）に示しました。

（表2）第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会（清流の国ぎふ総文2024）

〔清流の国ぎふ総文2024 HPから〕

部 門		結 果	参 加 校	生徒名	学年
パレード	マーチングバンド		星野高校		
	バトントワリング		山村国際高校		
マーチングバンド・バトントワリング	マーチングバンド	講評者特別賞	星野高校		
写 真		最優秀賞・文化庁長官賞	埼玉栄高校	西田 和心	3年
将 棋	女子個人戦	優勝・文部科学大臣賞	早稲田大学本庄高等学院	横村 日和	1年
		第3位	春日部共栄高校	山口 依真	2年
囲 碁	団体戦	準優勝・文化庁長官賞	栄北高校	田坂 心音	3年
小倉百人一首かるた	競技の部	奨励賞	浦和明の星女子高校	吉田 悠莉	2年
			浦和明の星女子高校	高橋 香月	3年
			浦和明の星女子高校	杉浦 舞	3年
			浦和明の星女子高校	水谷麻佑子	3年
			星野高校	小川 未藍	3年

